

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2025/2/10現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）	
金融商品の名称・種類	次世代米国代表株ファンド・証券投資信託
組成会社（運用会社）	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
販売委託元	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	本商品は、中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容する方のうち、基準価額水準に応じて支払われる分配金を、年４回、受け取りたい方を想定しています。分配金は、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 具体的な投資対象は、どのようなものですか？
 - ② 配当金を出すことは、ファンドの運用として好ましくないことですか？
 - ③ この商品が私にふさわしい理由は、どのような点にありますか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）	
損失が生じるリスクの内容	●価格変動リスク 運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 ●為替変動リスク 為替相場の変動による影響を受けます。 ●信用リスク 投資先や取引先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。 ●流動性リスク 市場の流動性が低く、想定より不利な価格での取引や取引自体が行えなくなることによる影響を受けます。
過去1年間の収益率	22.5%（2024年9月末現在）
過去5年間の収益率	平均19.0% 最低－13.5%（2020年3月）最高58.7%（2021年3月） （2019年10月末～2024年9月末における各月末の直近1年間の騰落率）

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載しています。

- （質問）
- ④ 配当を出すことは、基準価額にとってマイナスですか？
 - ⑤ 収益率が最低となった時期には、どのような状況がありましたか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	* インターネット専用商品	1.65%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬率 年率1.595%（税抜 年率1.45%） その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「手続き・手数料等」「ファンドの費用・税金」「ファンドの費用」に記載しています。

- （質問） ⑥ 購入は、インターネット取引に限るのですか？
⑦ 他の商品と比べて、購入手数料が高いのはなぜですか？

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還の場合があります。
解約時手数料	この商品に解約手数料や信託財産留保額は生じません。
解約の制限事項	市場の閉鎖、海外の銀行の休業日の場合等、換金・解約ができないことがあります。

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」「お申込メモ」に記載しています。

- （質問） ⑧ 換金をした場合、何日目に資金を受け取れますか？

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

手数料	各販売会社における取扱純資産総額に応じて年率0.88%（税抜 年率0.8%）以内 50億円以下の部分 年率0.77%（税抜 年率0.7%） 50億円超100億円以下の部分 年率0.825%（税抜 年率0.75%） 100億円超の部分 年率0.88%（税抜 年率0.8%） これは購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価です。
-----	---

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ この組成会社の商品取り扱いがかなり多いことに、問題はありますか？

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

租税の概要	課税上は株式投資信託として扱われ、分配時、換金・償還時の所得に課税されます。 新NISA（成長投資枠）でご利用できます。
-------	---

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」「ファンドの費用・税金」「税金」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】

（URL①） <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】

（URL②） <https://www.am.mufg.jp/fund/260790.html>

※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



沼津信用金庫

商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

< 質問回答例 >

次世代米国代表株ファンド・証券投資信託

	< 質問 >	< 回答例 >
①	具体的な投資対象は、どのようなものですか？	現在は、半導体・情報通信・金融など、米国の主要企業数10社が投資対象となっています。
②	配当金を出すことは、ファンドの運用として好ましくないことですか？	運用成果に応じた配当支払いは、ファンドの運用としても妥当なことです。また、お客様の側で分配金再投資を選択することもできます。
③	この商品が私にふさわしい理由は、どのような点にありますか？	米国株式投資に関心のあるお客様にとっても、その代替的な投資手段となることです。
④	配当を出すことは、基準価額にとってマイナスですか？	基準価額は「純資産額÷ファンド口数」によって算出され、配当金を支払うと純資産額はその分、減少しますので、その観点ではマイナス要因となります。
⑤	収益率が最低となった時期には、どのような状況がありましたか？	世界的にコロナ禍が発生した直後でした。なお株式市場は、その後、半年程度で大幅に反転上昇しました。
⑥	購入は、インターネット取引に限るのですか？	本商品については、当面はそうように考えておりますが、お客様のご要望などをふまえて変更することもあります。
⑦	他の商品と比べて、購入手数料が高いのはなぜですか？	対象業種や銘柄・市場に特化した商品には、より充実した説明態勢を要することから、他の商品と比較してやや高い販売手数料率となっております。
⑧	換金をした場合、何日目に資金を受け取れますか？	本商品については、換金のお申込みを頂いた日を含めて、5営業日目に入金されます。
⑨	この組成会社の商品取り扱いがかなり多いことに、問題はありませんか？	お客様に分かりやすく、運用成果の期待できる商品を選定する結果として、当会社の商品の比率は増えていますが、販売上のインセンティブはなく、他商品同様の取り扱いを行なっています。